



キリン食生活文化研究所

2018年12月11日
レポート vol.76

～あなたのくらしのアンケート～
中古品の売買と、もののシェア

サマリー

あなたは、中古品の売買や、レンタル・シェアをしていますか？

ものをシェアして使うことについてのご意見もご紹介します。

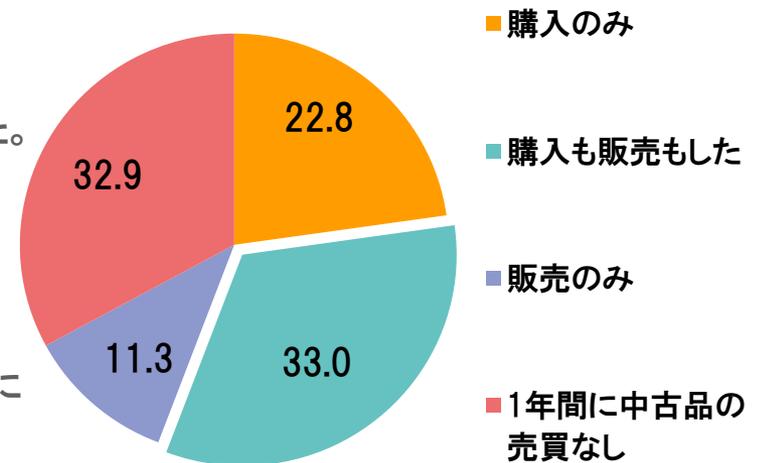
キリン食生活文化研究所は、「中古品の売買と、もののシェア」について調査を実施(2018年10月16日～10月23日、全国、ウェブ調査)、男女20～79歳 計16,324名の回答をまとめました。

1年間に中古で購入したものがあある人は56%、リユース目的で売ったことがある人は44%。売買とも行った人、どちらも行ってない人がそれぞれ1/3を占めました。買ったもの・売ったもの共に上位には「書籍、コミック、雑誌」、「普段着」が挙がりました。

中古での購入理由は「新品より安い」が圧倒的に高く、リユース目的での販売理由は「捨てるのがもったいない」が1位でした。若年層では経済的理由、年長層では「もったいない」や「断捨離」が高い傾向です。

「ものをシェアして使うこと」の自由回答からは、破損や汚れのリスクやトラブル、衛生面などから、もののシェアに抵抗感を持つ人が多いことがうかがえました。そんな中にも、シェアがコミュニケーションのきっかけになったり、次に使用する人を思いやる気持ちを育んだりなど、シェアして使うことが開く新たな可能性も見えてきました。このレポートが、もののシェアやリユースについて考えるきっかけになればうれしいです。

Q.過去1年間に中古で購入しましたか
／リユース目的で販売しましたか？

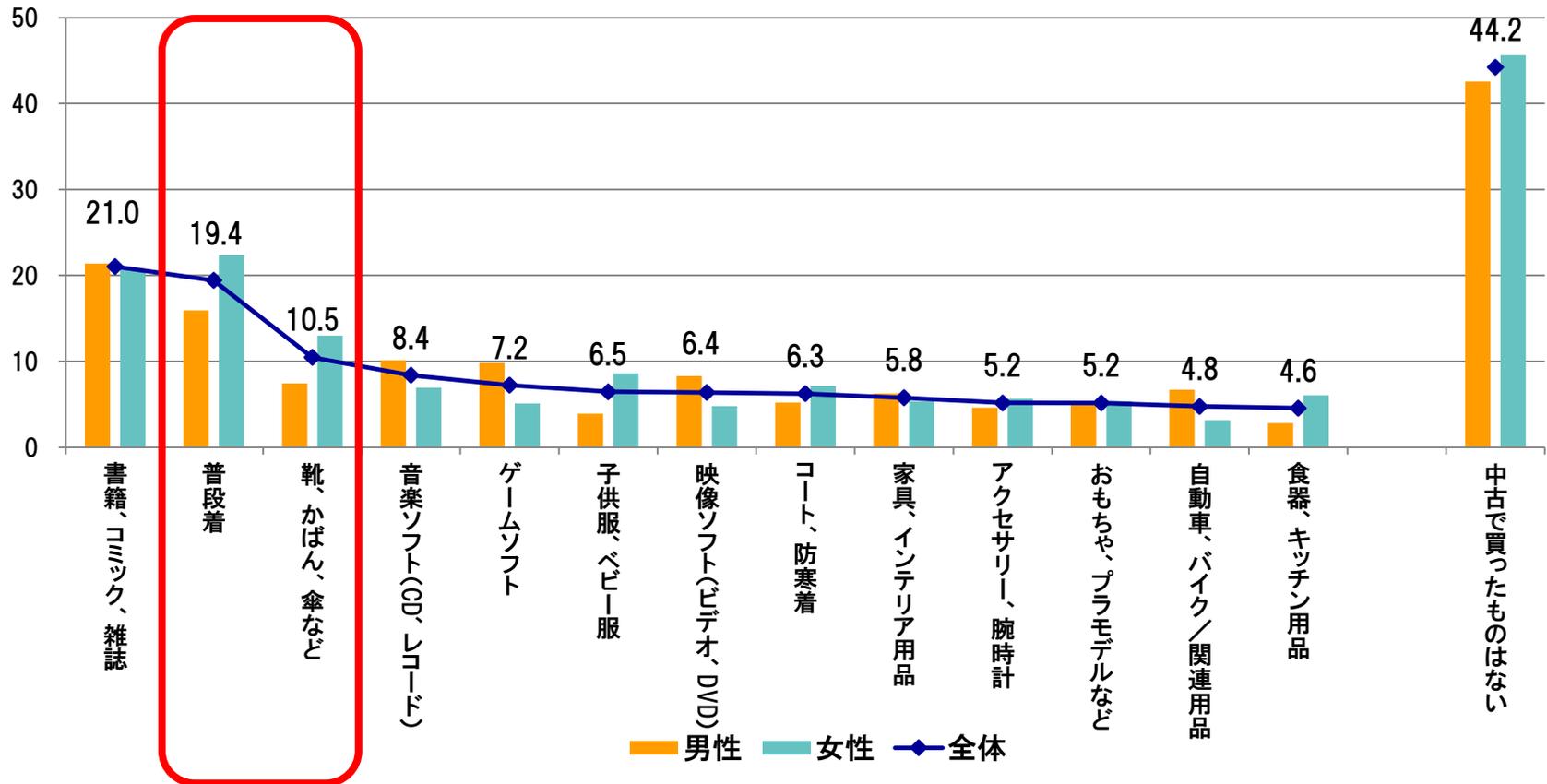


Q.過去1年間に「中古で購入したもの」は？

1年間に中古で購入したことがある人は56%。グラフにはないがシェアハウスで暮らしている人で83%と高い。購入したものは「書籍・雑誌」、「普段着」が約2割と、ツートップ。それ以外の品目は分散している。「普段着」と「靴・かばん・傘など」は男性よりも女性で高いが、その他の品目は性別による違いはあまりない。

(%)

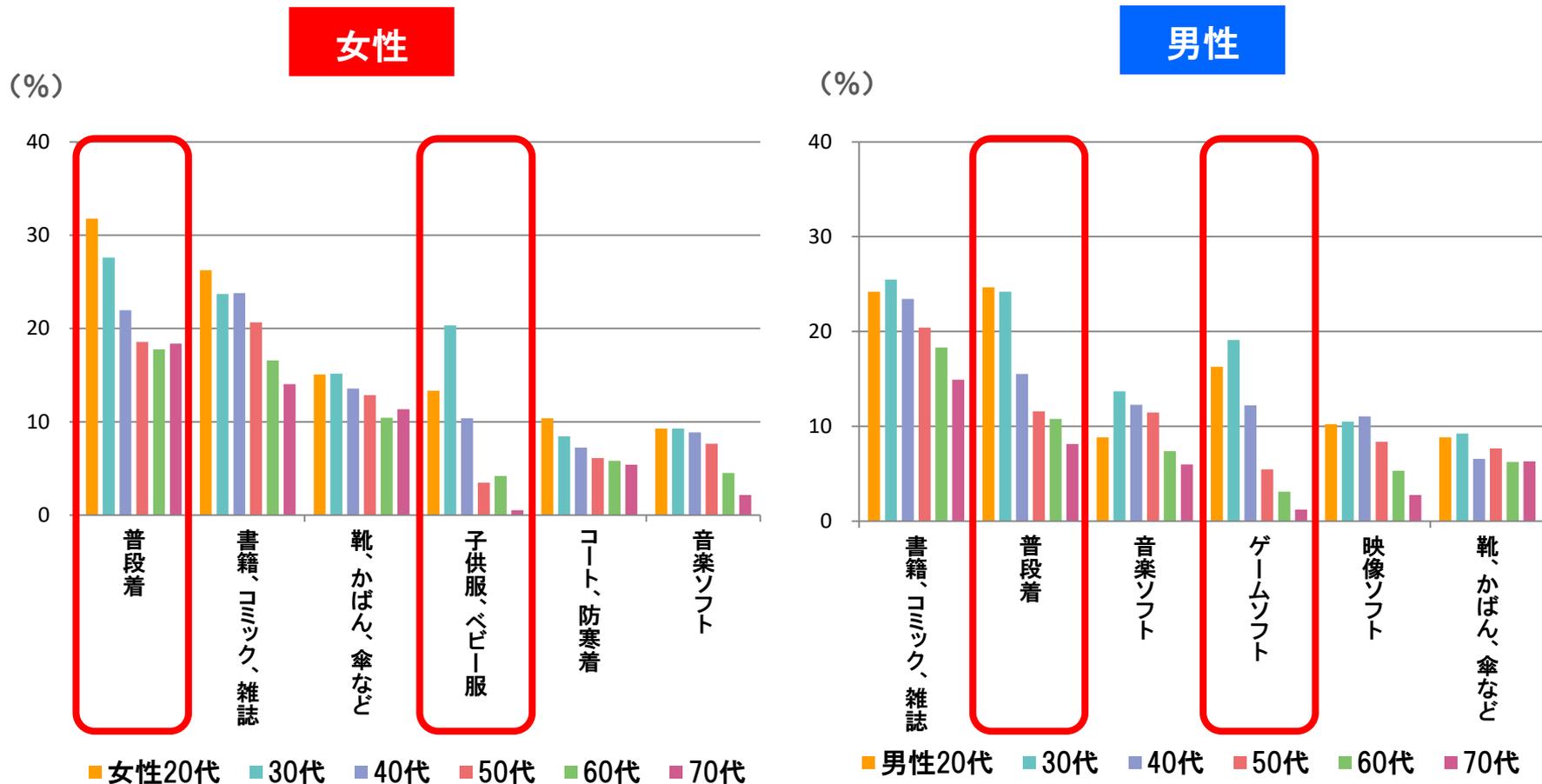
中古で購入したもの



Q.過去1年間に「中古で購入したもの」は？（性・年代別）

男女それぞれ上位の品目を年代別に比較した。品目に関わらず中古での購入率は若年層ほど高めだが、なかでも「普段着」は男女ともに20・30代で高く、特に女性20代ではこの1年に中古で購入した人が3割を超えている。女性30代の「子供服・ベビー服」、男性20・30代の「ゲームソフト」も目立つ。

中古で購入したもの

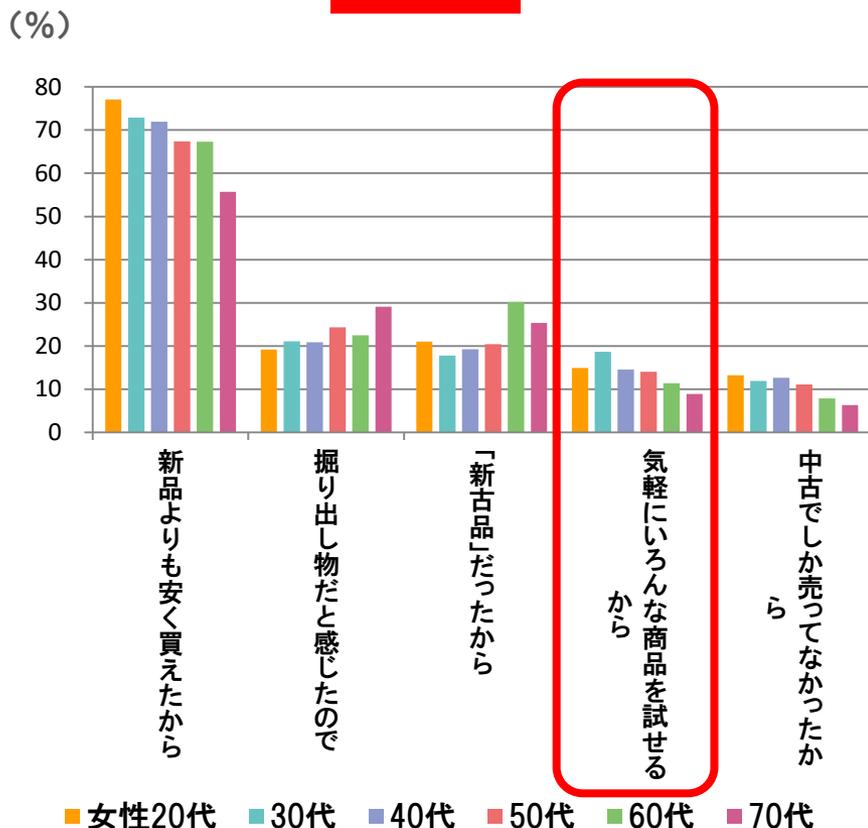


Q.なぜ新品ではなく中古で買ったのか？（性・年代別）

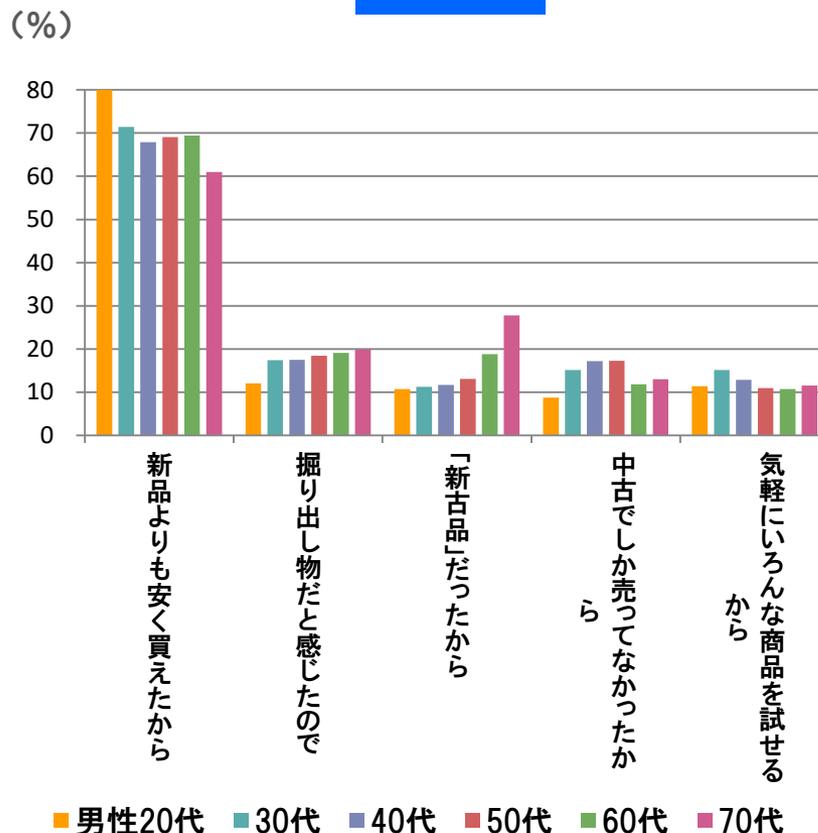
一番最近購入したものについて、中古で買った理由を聞いた。全体では「新品よりも安く買えたから」が7割と圧倒的に高い。男女それぞれ上位を年代別に見ると、「新品より安く」は若年ほど、「掘り出し物」「新古品」は年長層ほど高い傾向。「気軽にいろいろ試せる」は、30代女性で19%と高め。

中古で購入した理由

女性

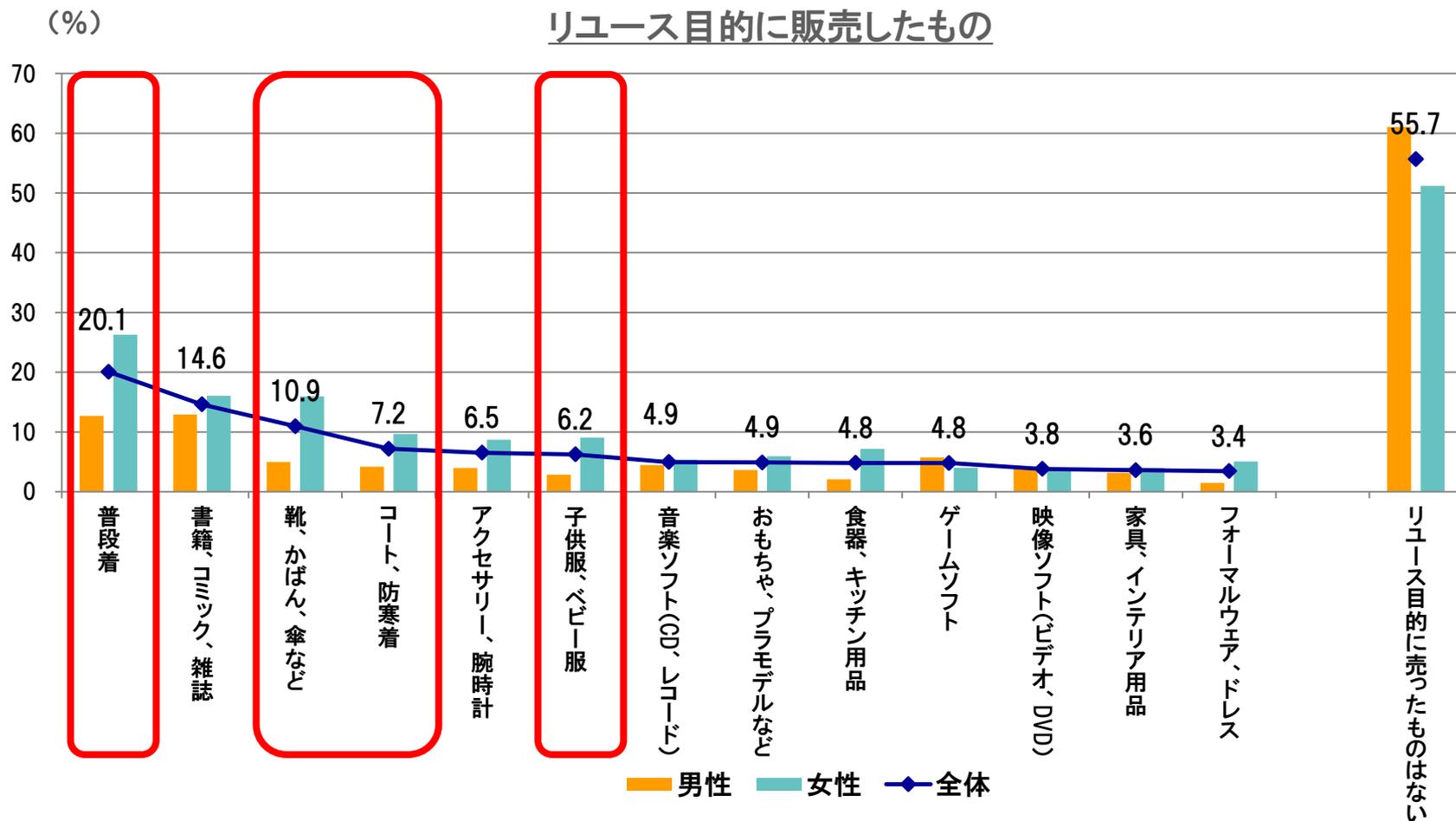


男性



Q.過去1年間にリユースショップやフリマなどで「売ったもの」

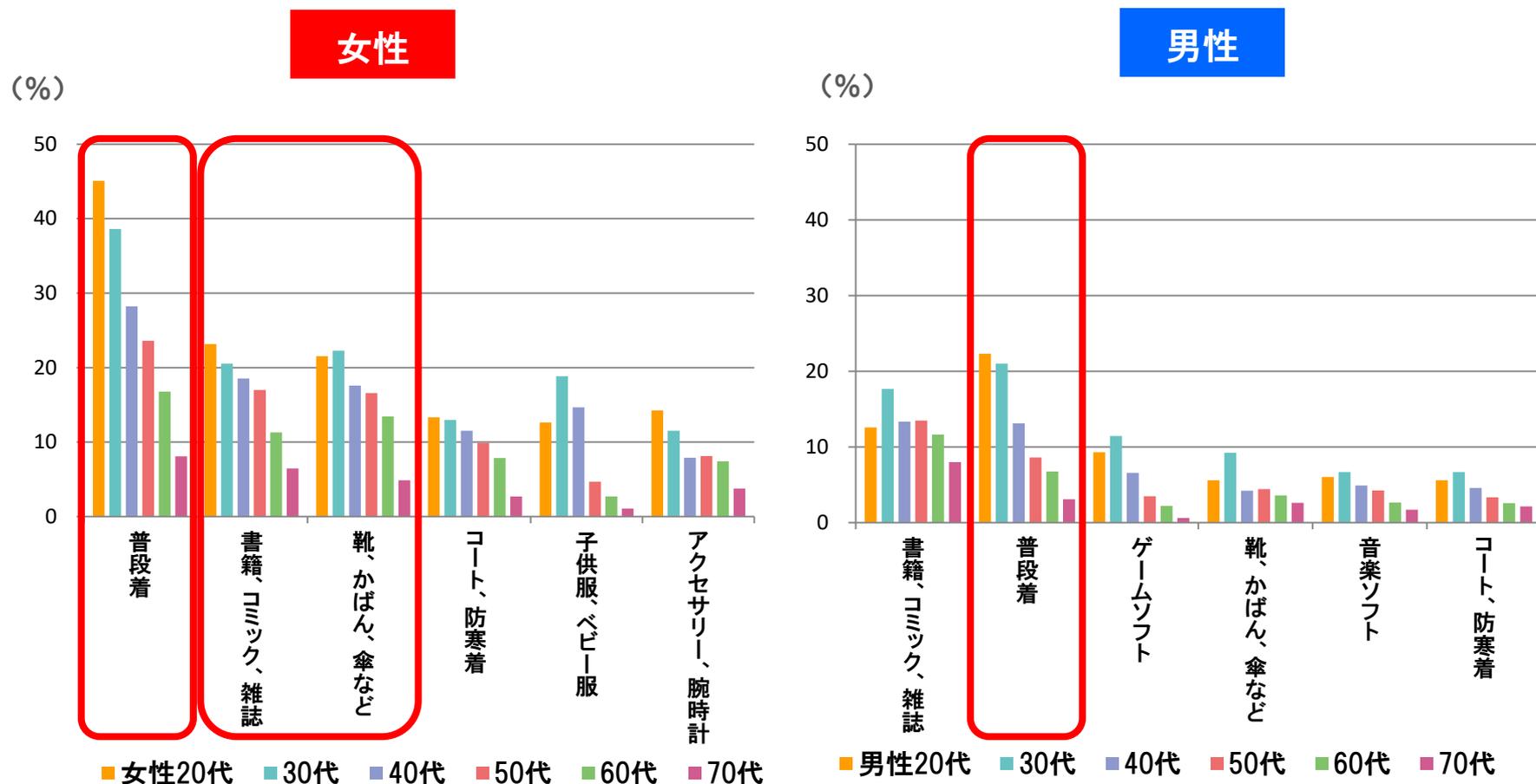
1年間にリユース目的で販売したことがある人は44%。男性39%に対して、女性49%と、中古での購入よりも差がある。販売したものは「普段着」が約2割と突出するが、購入したものと同様の品目が並ぶ。「普段着」、「靴、かばん、傘など」、「コート」、「子供服、ベビー服」などの衣料品は、女性の方が高い。



Q.過去1年間にリユースショップやフリマなどで「売ったもの」（性・年代別）

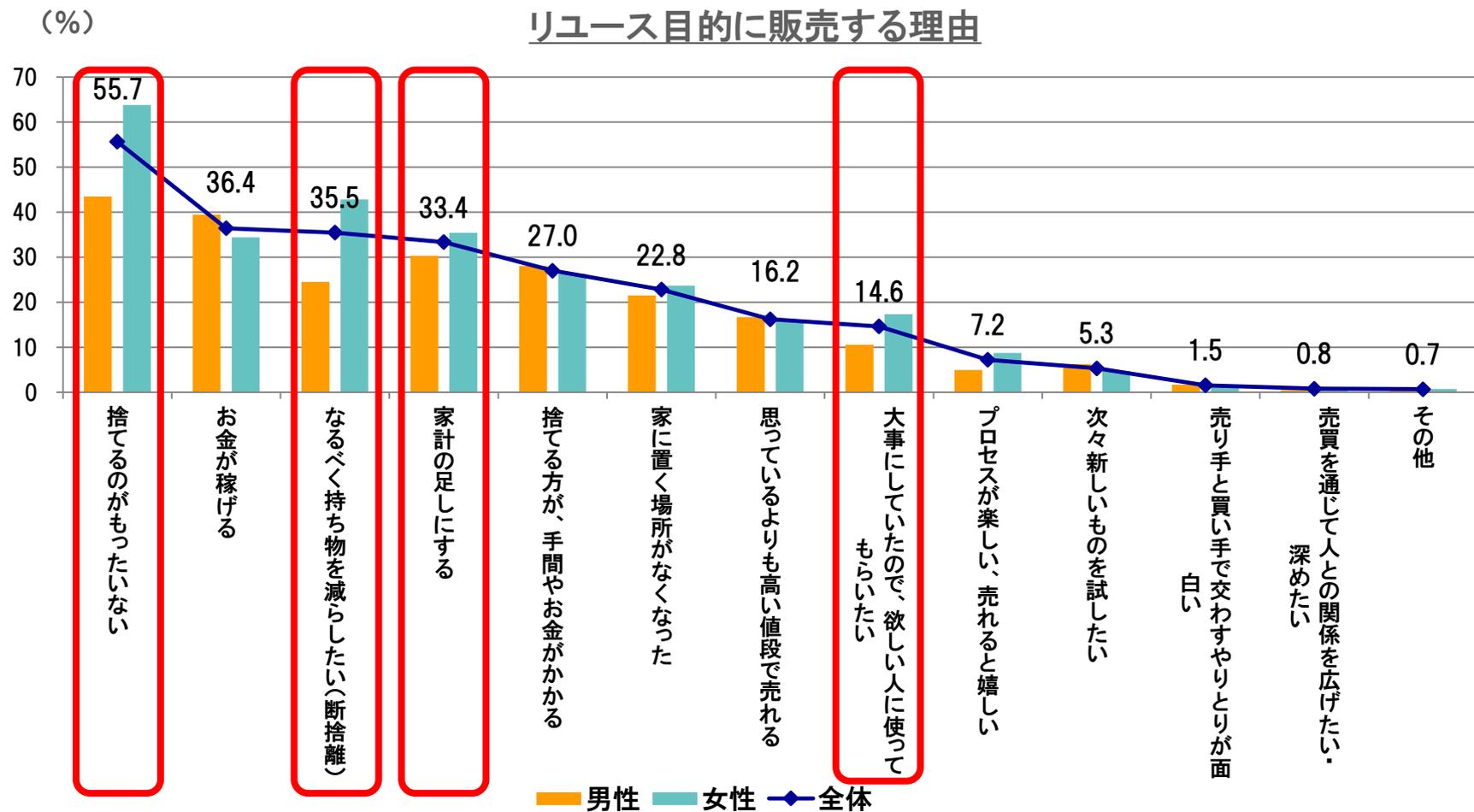
男女それぞれ上位の品目を年代別に比較した。中古購入率同様、リユース目的での販売も全般的に若年層ほど高い。「普段着」は男女ともに20・30代で高く、特に女性20代では45%に達している。女性20・30代の「書籍、雑誌」や「靴、かばん、傘など」も2割を超えている。

リユース目的に販売したもの



Q.なぜ捨てずにリユースショップやフリマなどで売なのか？

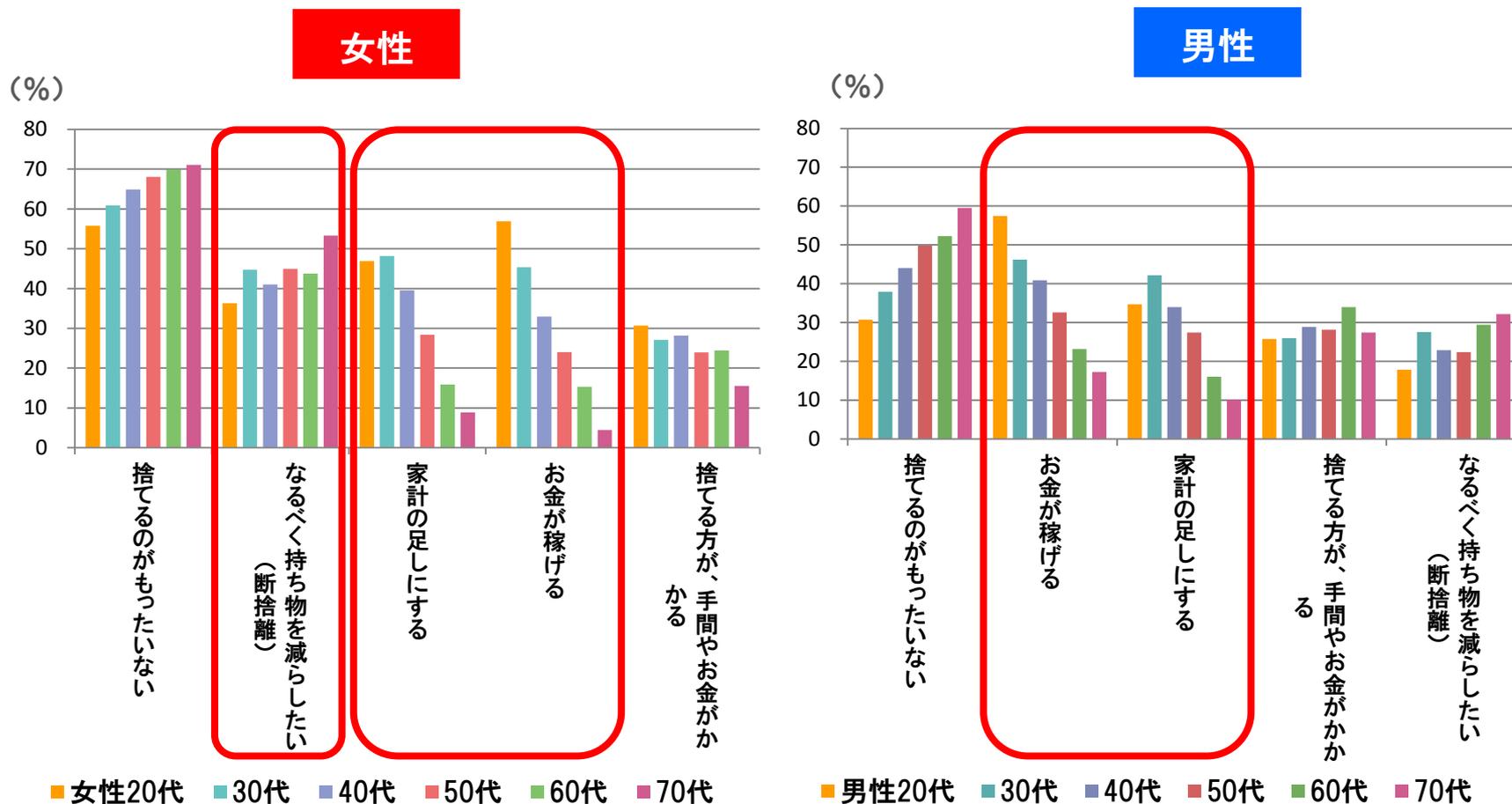
いらなくなったものを捨てずに売る理由を聞いた。全体では「捨てるのがもったいない」が56%と圧倒的に高い。「もったいない」、「断捨離」、「家計の足し」は男性より女性で高い。また、「大事にしていたので欲しい人に使ってもらいたい」は女性で17%と男性より高く、グラフにはないが特に70代女性で高かった。



Q.なぜ捨てずにリユースショップやフリマなどで売るのが？（性・年代別）

いらなくなったものを捨てずに売る理由について、男女それぞれ上位の項目を年代別に見ると、「家計の足し」や「お金が稼げる」などの経済的理由は若年層ほど、「もったいない」や「断捨離」は年長層ほど高い傾向だった。「断捨離」は、女性では若年層でも3割を超えている。

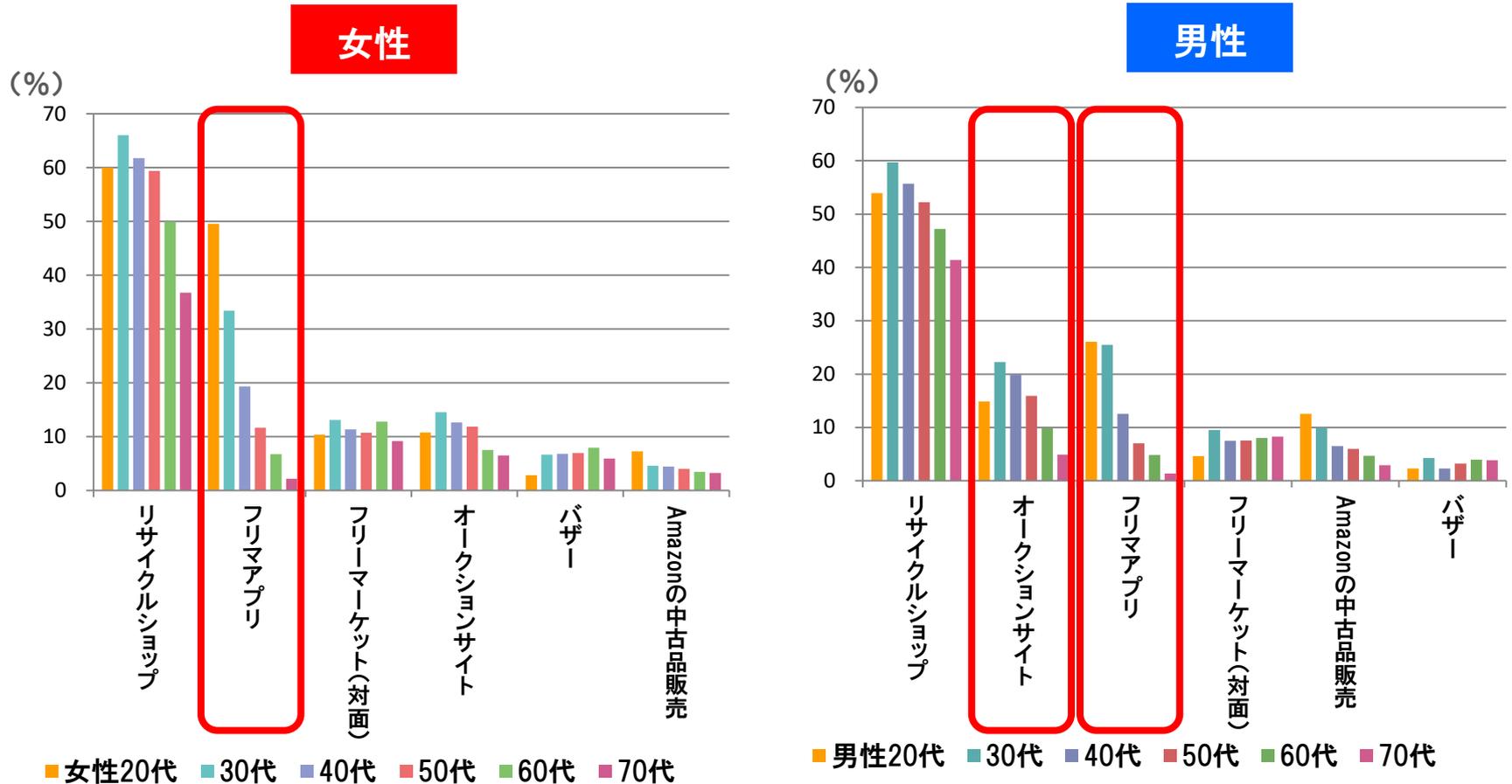
リユース目的に販売する理由



Q.中古品の売買に利用しているのは？（性・年代別）

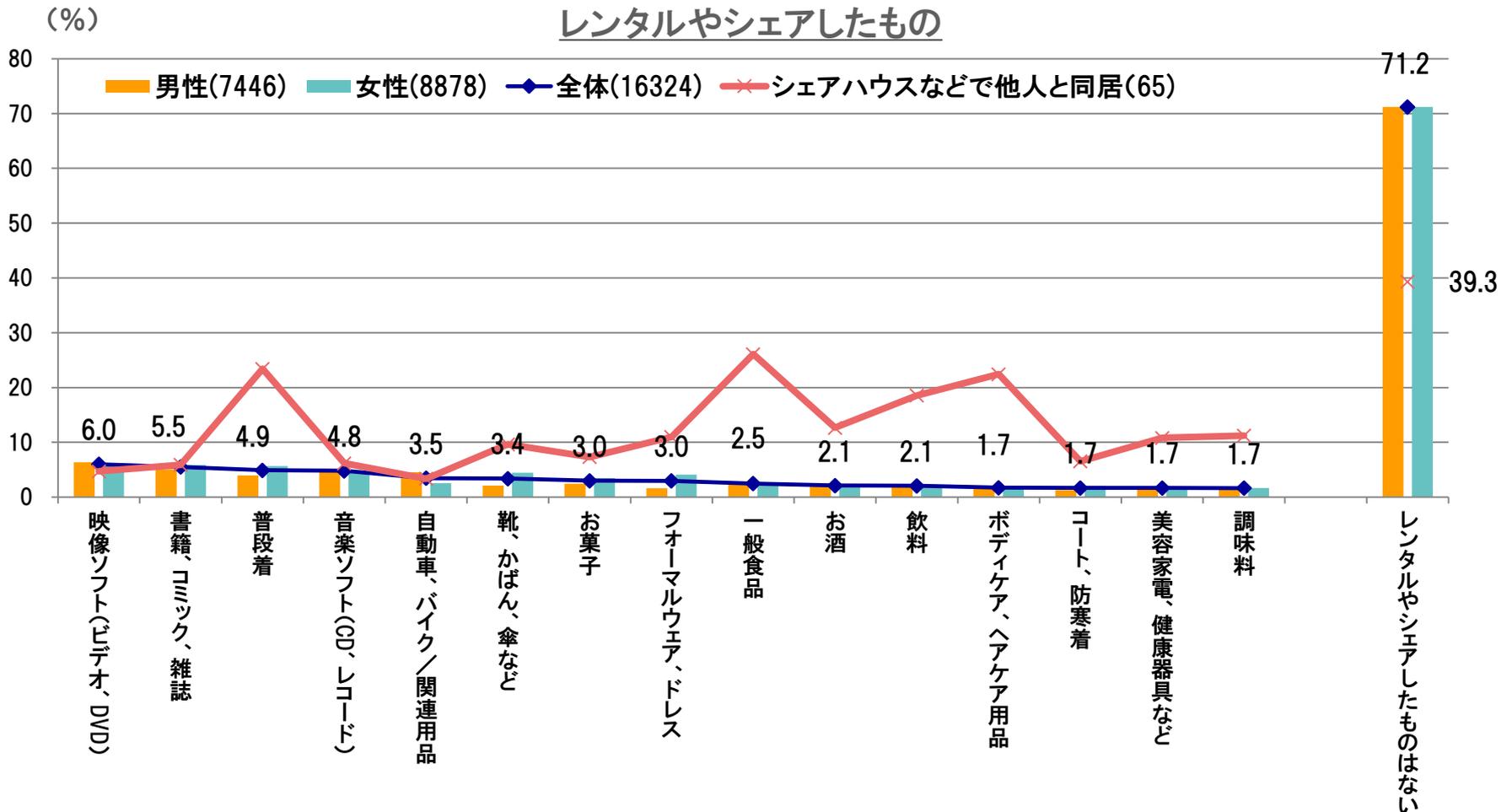
車や家を除いて、中古品の売買に利用しているチャネルは「リサイクルショップ」が54%と圧倒的に1位。若年層では「フリマアプリ」も高く、特に20代女性の利用率は5割に達する。男性では30・40代を中心に「オークションサイト」も高め。

中古品売買チャネル



Q.過去1年間にレンタルやシェアしたもの

過去1年間にレンタルしたり「同居の家族以外と」シェア(共有して一緒に使用)したものについて聞いた。全体では「ない」が71%と圧倒的だが、シェアハウスなどで他人と同居している人では、6割が何らかのものをシェアしている。中でも「食品」、「普段着」、「ボディケア・ヘアケア用品」が2割を超えて高め。



Q.「ものをシェアして使うこと」についてどう考えていますか？（自由回答）

破損や汚れのリスクやトラブル、衛生面から、もののシェアには全体的には抵抗感を持つ人が多いようだ。ここでは経済面以外のポジティブな回答をピックアップした。コミュニケーションのきっかけになったり、次に使用する人を思いやる気持ちを育んだりなど、シェアして使うことが開く新たな可能性も見えてきた。

シェアして使うことへの考え（レンタル・シェア経験者の自由回答）

フリマアプリは顔が見えないので双方が思いやりを持って行うことが大事。(20代男性)

ものや他人を
大事にする

他の人も使っていることから、大切にしようとする気持ち、行動が現れる。(20代女性)

独占しないで人と協力しながら生きて行くことを身につける事ができる。(30代男性)

コミュニケーション
ツール

好きなものを共有することで楽しさや嬉しさを共有することが出来、とてもいいコミュニケーションツールだと思う。(20代女性)

家族や親しい人とシェアすることにより会話が生まれ親近感が湧く、コミュニケーションの一環だと思っている。(40代男性)

互いの理解
価値観の共有

モノに対して価値観をクロスさせる。ものをシェアするとは、互いの意識もシェアすることだと思う。(20代男性)

何をシェアするかしっかり議論することで、対話の時間が生まれ、互いがどう考えているかを理解することが出来る。(50代男性)

新しい発見
鑑識眼を養う

コーディネートが広がったり、共感し合える為、新しい発見に繋がる。(20代女性)

シェアすることで最新アイテムが手に入る。服を1ヶ月毎に入替えて楽しい。(30代男性)

アドバイスしたり
してもらったり

シェアによって使えるものの種類や回数が増え見る目も養うことができる。(30代女性)

ものと一緒に様々なアドバイスができる点が売買と違うシェアの良い点。(30代男性)

想いをつないで
いける

最初からシェア目的で購入するものが多く、人の意見も参考にできる。(20代女性)

まだまだ使えるものを誰かが使ってくれるのは嬉しいし誰かが大切にしていたものを引き継ぐことも楽しい。(20代女性)

想いをつないでいけることがシェアして使った良い点。(20代女性)

Q.買い物などに関する意見

「長く使いたい」、「自分が良いと思うものを選びたい」が5割内外と高い。「自分が良いと思うもの」、「ものを持ちたくない」や「作ったものを売ってみたい」は女性で高く、「コストパフォーマンス」は男性が高め。1年間にレンタル・シェアをした人では、「コスパ」がやや高く、「新しいものを買って使いたい」が低い傾向。

買い物などに関する意見

